



200年もの昔、当時人口100万を数え世界最大の都市といわれた江戸。鋏形蕨薺が描いたこの「江戸一目図屏風」は、それまで日本にはなかった都市の鳥瞰図のひとつで、隅田川を眼下に、賑わう下町から江戸城、背後の山の手、さらには遠く富士山まで取り入れ、江戸独特の地形的特徴が克明にとらえられています。やがて完成する東京スカイツリーから眺められる現代東京の光景は、その昔の江戸の姿と奇しくも重なり合い、都市の綿々たる歴史を見事に映し出すことでしょう。



【南コース】
行程約2km／約60分

スタート：押上駅
↓ (100m)

①「京成橋」
タワーの定下東側から見上げる

↓ (450m)

②「十間橋」
北十間川の川面に映る逆さツリー

↓ (100m)

③「柳島妙見山法性寺」
江戸城の鬼門除け。北辰妙見大菩薩があつた。近松門左衛門や葛飾北斎の石碑がある。

「業四市場商栄会」経由
下町情緒が溢れる懐かし
の商店街
↓ (700m)

④「春慶寺」
「東海道四谷怪談」の作者四世鶴屋南北の墓や供養碑が残されている。「鬼平犯科帳」にも登場。

↓ (100m)

⑤「おしなりくんの家」
地元商店街のイメージキャラクター「おしなりくん」がお待ちしています。

↓ (隣接)

⑥「すみだもの処」
江戸から現代に受け継がれてきた物づくりの伝統、匠の技により生み出された逸品を展示し、様々な区内産品を販売している。

↓ (350m)

⑦「東武橋」
タワーの定下西側から見上げる

↓ (50m)

⑧「東京スカイツリーインフォプラザ」
開業までの間、模型や完成予想図、映像資料などで東京スカイツリーを紹介している。

↓ (隣接)

ゴール：業平橋駅

…… タワービューポイント

【北コース】
行程約3km／約90分

スタート：業平橋駅
↓ (隣接)

①「東京スカイツリーインフォプラザ」
開業までの間、模型や完成予想図、映像資料などで東京スカイツリーを紹介している。

↓ (50m)

②「東武橋」
タワーの定下西側から見上げる

↓ (550m)

③「源森橋」
北十間川に沿ってそびえるツリー

↓ (300m)

④「枕橋」
北十間川に沿ってそびえるツリー

「隅田公園」経由
日本初のリバーサイドパーク、水戸徳川家下屋敷跡のや八代將軍吉宗ゆかりの慶應の校は有名。夏は隅田川花火大会で賑わう。
↓ (350m)

⑤「牛嶋神社」
慈覚大師が興したと伝えられる本所の総鎮守。境内の撫牛(なでうし)は、自分の悪い部分と同じ場所を撫でることで病気が治るといわれている。

↓ (350m)

⑥「三囲神社」
三井家の守護神として鳥居などが寄贈されているが、最近では三越池袋店が閉鎖後、シンボルのライオン像が移築された。隅田川七福神(恵比寿・大黒神)。

↓ (350m)

⑦「弘福寺」
山門や仏殿の建築は、屋根を重ねた重層構造の中国様式を色濃く残す唐破風。若き日の勝海舟が禅の修業をした寺院として知られている。隅田川七福神(布袋尊)。

↓ (50m)

⑧「長命寺」
鷹狩りをしていた三代將軍家光が、急な腹痛に襲われた折、この井戸水で薬を飲んだところ治まったことから寺号を与えたと伝わる。隅田川七福神(弁財天)。

↓ (950m)

ゴール：押上駅

押上・業平橋駅周辺土地区画整理組合
〒130-0002 東京都墨田区業平3-17-9 マルホンビル6階
TEL: 03-5819-2075 FAX: 03-3622-3168

〈土地区画整理事業受託者〉
独立行政法人 都市再生機構
押上・業平橋駅周辺地区担当事務所
〒130-0002 東京都墨田区業平3-17-9 マルホンビル6階
TEL: 03-5819-2075 FAX: 03-3622-3168
【都市機構総合】 <http://www.ur-net.go.jp>
【東日本都市再生本部】 <http://www.ur-net.go.jp/toshisaisei/urbanr/oshinari>

東京スカイツリー®のまち

押上・業平橋ものがたり

むかしといままちの移り変わり

京成橋

都電と東武鉄道本社

浅草橋関区の転車台

北十間川緑地活用構想(イメージ)

描かれた江戸の町
写された東京の街

押上・業平橋駅周辺土地区画整理組合
OSHI-NARI LAND READJUSTMENT PROJECT

街に、ルネッサンス
UR 都市機構

2011年10月

